

国際大ダム会議・第 80 回年次例会および第 24 回大会

参加案内

国際大ダム会議「第 80 回年次例会および第 24 回大会」が京都で開催されます。この開催につきましては小誌およびInitial Bulletin, 2nd Bulletin等ですでにその概要をご案内申し上げましたが、このたびFinal Bulletinが完成致しましたので再度開催のご案内を致します。

「第 80 回年次例会および第 24 回大会」は 2012 年 6 月 2 日（土）～6 月 8 日（金）にかけての 7 日間にわたり「京都ホテルオークラ」および「京都国際会館」を会場にして開催致します。

参加登録の「Registration Form」を公示すると共に、参加登録受け付けを 12 月 9 日より開始致しました。

参加登録では例年どおり早割の特典がございます。2012 年 2 月 29 日までの登録には登録料が¥110,000 円と正規登録料¥120,000 円に対し 1 万円割引致します。

この早割期間終了後も継続して登録受け付けを行いますが、5 月 18 日（金）を最終締切日とし、登録料金は正規登録料金の¥120,000 円とさせていただきます。

○参加登録料および登録締め切り日

- ・ 早割適用参加登録 : ¥110,000 円・・・2012 年 2 月 29 日
- ・ 2012 年 3 月 1 日以降 : ¥120,000 円・・・2012 年 5 月 18 日

開催概要は下記の通りです。

1. 第 80 回年次例会および第 24 回大会 開催日程

第 80 回年次例会および第 24 回大会は以下の日程表に示すように 6 月 2 日（土）から開催致しますが、京都での参加登録受け付けは 5 月 31（日） pm 1:00 から開始致します。

以下に例会期間中の主な行事プログラムを示します。

第 79 回年次例会および第 24 回大会プログラム

月 日	午前	午後	その他行事
5月31日(木)	プレ・スタディーツアー 帰着	例会・大会参加登録	
6月 1日(金)	年次例会・大会参加登録		午後 市内観光 C-1
6月 2日(土)	年次例会・大会参加登録 技術見学会 A		午後 市内観光 C-2
6月 3日(日)	年次例会・大会登録 技術見学会 B		午後 市内観光 C-3
	事務局幹部会議	技術委員長会議	
6月 4日(月)	年次例会・大会参加登録 技術委員会	技術委員会 地域クラブ・円卓会議	
		技術展示会準備	夜：歓迎晩餐会
6月 5日(火)	年次例会・大会参加登録 総会 国際シンポジウム 技術展示会	総会 国際シンポジウム 技術展示会	午後：ポスターセッション 昼：技術展示開会式
6月 6日(水)	大会参加登録 大会開会式 技術展示会	課題討議 No92 技術展示会	夜：文化行事
6月 7日(木)	課題討議 No92・93 技術展示会	課題討議 No93・94 技術展示会	
6月 8日(金)	課題討議 No94・95 技術展示会	課題討議 No95・閉会式 技術展示会閉会式	夜：送別晩餐会
6月 9日(土)	ポストスタディーツアー へ		

2. 年次例会・大会参加登録料

参加登録料を下表に示します。

参加登録料

参加者		金額	
		参加登録期日	
参加登録者	年齢	2月29日 まで	3月1日以降
参加登録（本人）	35歳以上	110,000 円	120,000 円
〃（同伴者）	*	44,000 円	48,000 円
〃（本人）	35歳未満	66,000 円	72,000 円
〃（同伴者）	*	27,000 円	29,000 円

*：同伴者の年齢は問いません

3. シティーツアー

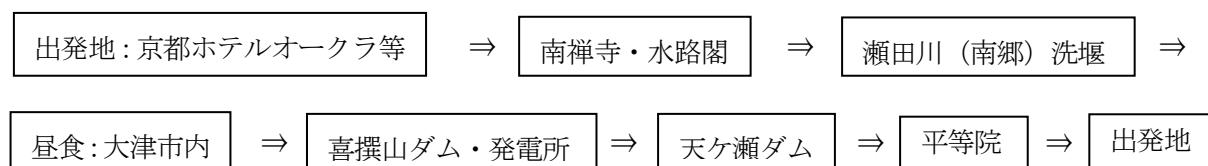
参加者および同伴者には京都の名所を巡る半日バスツアーを用意しております。ツアーは3回に分けて行われますが、参加出来るのは1回のみです。料金は参加登録料に含まれています。

- ① 京都名所巡り半日バスツアー C-1 6月1日 13:00～16:00
- ② 京都名所巡り半日バスツアー C-2 6月2日 13:00～16:00
- ③ 京都名所巡り半日バスツアー C-3 6月3日 13:00～16:00

4. 技術見学会

技術見学会は6月2日(土)および3日(日)の都合2回催行致しますが、参加者は前記2日間の中から希望の1日を選択することになります。ツアーの主なコースは以下のとおりです。

なお参加料金は登録料に含まれています。



（8:00～8:20 間に順次出発・・・ 17:40～18:00 間に順次到着）

5. スタディーツアー

年次例会・大会にあわせてスタディーツアーを用意しています。

ツアーはそれぞれ会議前2コース（プレ・ミーティングツアー）、会議終了後に5コース（ポスト・ミーティングツアー）の都合7コースございます。

以下にプレツアーコースおよびポストツアーコースの主な旅程と料金を示します。

スタディーツアーコースと料金

番号	期 間	ツアーコース・旅程	主な視察対象	費用(一人当たり)	
				シングル*	ダブル
F 1 (A)	5/27～30	(北京or上海～) 宜昌～三峡ダム～茅坪溪ダム～ 三峡ダムクルーズ～宜昌～水布垭ダム～ 隔河岩ダム～宜昌(～北京or上海)	*三峡ダム *茅坪溪ダム *水布垭ダム *隔河岩ダム	¥70,000	¥62,000
F 2 (B)	5/28～31	ソウル～(KTX)～東大邱～Gang Jeong 堰～ 慶州市内観光～釜山～Nakdong River 河口堰 ～釜山国際空港～関西国際空港～京都	*GangJeong 堰 *Nakdong River 河口堰	¥149,000	¥117,000
F 3 (C)	6/9～13	京 都～伊丹空港～新千歳空港～夕張シューパロダム ～札幌～登別～有珠山～ニセコ～京極発電所～ 小樽運河～札幌～当別ダム～札幌	*夕張シューパロダム *京極発電所・上下ダム *当別ダム	¥158,000	¥136,000
F 4 (D)	6/9～13	京 都～(新幹線)～東京～(新幹線)～軽井沢～ 鬼押し出し～軽井沢～神流川発電所～日光～ 華厳の滝～日光東照宮～川治ダム～五十里ダム～ 東 京～東京市内観光(スカイツリー・浅草他)～東京泊	*神流川発電所: ・南相木ダム・上野ダム *川治ダム *五十里ダム	¥160,000	¥132,000
F 5 (E)	6/9～13	京 都～(新幹線)～名古屋～長良川河口堰～ 徳山ダム～岐阜～白川郷～金沢市内観光～ 富 山～立山・黒部アルペンルート～黒部ダム～ 扇沢～松本～奈川渡ダム～上高地～名古屋泊	*長良川河口堰 *徳山ダム *黒部ダム *奈川渡ダム	¥154,000	¥130,000
F 6 (F)	6/9～11	京 都～(新幹線)～岐阜羽島～徳山ダム～ 長良川河口堰～岐阜～御母衣ダム～白川郷～ 高山市内観光～高山～名古屋	*徳山ダム *長良川河口堰 *御母衣ダム	¥87,000	¥75,000
F 7 (G)	6/9～14	京 都～伊丹空港～宮崎空港～小丸川発電所～ 宮 崎～鶴田ダム～鹿児島～那 覇～米須地下ダム 名 護(ゲセテラス泊)～羽地ダム～徳首ダム～福地ダム ～名 護～ちゅら海水族館～やんばる海水揚水発電所 ～那 覇～大阪	*小丸川発電所:上・下ダム *米須地下ダム *羽地ダム *福地ダム *やんばる海水揚水発電所: ・上部調整池	¥222,000	¥180,000

(注) シングル*:ツインルームのシングルユース

6. 国際シンポジウム

国際大ダム会議・第80回年次例会およびだい24回大会に併せて"DAMS FOR A CHANGING WORLD -Need for Knowledge Transfer across the Generations & the World"を主テーマとする国際シンポジウムを6月5日(火)に京都国際会館の5会場に分かれて開催致します。シンポジウムのセッションテーマは以下のとおりですが、それぞれいくつかのサブテーマが設定されています。

○セッションテーマ

- (1) Impacts of Climate Change on Dams and the Benefits from Dams
- (2) Dams for Meeting Increasing Demand of Growing World Population
- (3) Knowledge & Technology Transfer in Dam Engineerin
- (4) Advanced Technologies for Construction of Dams
- (5) New Techniques to Prevent and Manage Incidents & Accidents
- (6) Earthquakes
- (7) Geotechnical Aspects of Dam Foundations

○セッションサブテーマ

(1) Impacts of Climate Change on Dams and the Benefits from Dams

- Role of dams in the adaptation to climate change
- Assessment of climate change impacts on water resources and floods
- Climate change impacts on water storage facilities and its mitigation
- Role of hydropower in a low carbon society
- Guidance and policies on climate change adaptation planning
- Research needs for a more reliable knowledge on climate change
- The impact of climate change on dam safety
- The role of dams in mitigating storm floods
- The monitoring and operation of dams during flood

(2) Dams for Meeting Increasing Demand of Growing World Population

- Food, energy and water - needs for dams in developed and developing countries
- Coexistence of dams with society and the environment
- Management of reservoir sedimentation
- Financial aspects of dams
- Institutional, planning and regulatory aspects
- The benefits of dams and new technologies in providing potable water supply

(3) Knowledge & Technology Transfer in Dam Engineering

- Knowledge transfer & succession planning
- Transfer of information across the world
- Methods of information transfer to the next generation
- Case studies of technology transfers

(4) Advanced Technologies for Construction of Dams

- Recent development in RCC dams and hardfill (CSG) dams
- Recent development in embankment dams
- Recent development in appurtenant structures

(5) New Techniques to Prevent and Manage Incidents & Accidents

- Information and communication technology for operation and monitoring
- Technologies to prevent accidents and incidents
- Remedial technologies
- Case studies

(6) Earthquakes

- Recent strong earthquakes and the behavior of dams
- Lessons from case histories of dams and appurtenant structures subject to earthquakes
- New methodologies to predict causative faults and earthquake ground motions
- Design and operation of hydraulic structures to resist earthquakes
- Emergency measures taken after earthquakes
- Performance monitoring for seismic events

(7) Geotechnical Aspects of Dam Foundations

- New techniques in exploration and evaluation
- Treatment technologies: efficiency and long-term performance
- Treatment of difficult geological conditions
- Design technologies for dams on weak foundations

7. オプションツアーおよび体験学習プログラム

○オプションツアー

シティーツアーとしては以下のような 11 コースを用意していますが、この内 OP-11 は日をかえて催行されるもので料金は 1 回あたりの金額です。

オプションツアーの日程と料金

コード番号	コース名	催行日	催行時間	料金(円)
OP-1	名園鑑賞	6月2日(土)	09:00~12:00	5,000
OP-2	三十石舟めぐりとビール工場	6月2日(土)	13:30~17:30	5,000
OP-3	二条城・丹山酒造・保津川下り	6月3日(日)	10:00~17:00	14,000
OP-4	季節の花と高雄高山寺	6月4日(月)	09:00~13:00	5,000
OP-5	奈良一日観光	6月5日(火)	8:30~17:30	14,000
OP-6	錦市場と日本料理実習・京都伝統産業	6月6日(水)	09:00~16:30	11,500
OP-7	比叡山・琵琶湖・大原一日観光	6月7日(木)	09:00~17:30	17,000
OP-8	伊勢・箱根・富士3日間	5月30日(水) ~6月1日(金)		1名:107,400 2名:190,800
OP-9	東山散策(起終点バス送迎付き)	6月4日(月)	14:00~17:00	3,600
OP-10	哲学の道散策(起終点バス送迎付き)	6月5日(火)	09:00~12:00	3,600
OP-11	舞子と京懐石料理	6月2,3,5,7日	18:00~21:00	18,500

○体験学習

以下の体験学習は各コースとも開催は 1 日ですが、複数の時間帯を設定し催行致します。

体験学習の日程と料金

コード番号	コース名	催行日	催行時間	料金(円)
E-1	生け花コース	6月7日(木)	13:00~14:00	5,000
E-2			14:00~15:00	
E-3	茶道コース	6月8日(金)	10:00~11:00	3,500
E-4			11:00~12:00	
E-5			13:00~14:00	
E-6			14:00~15:00	
E-7	折り紙コース	6月7日(木)	10:00~11:00	3,000
E-8			11:00~12:00	
E-9	書道コース	6月6日(水)	10:00~11:00	3,500
E-10			13:00~14:00	
E-11			14:00~15:00	

8. オフィシャルホテル

オフィシャルホテルは、1ヶ所を除き JR 京都駅から地下鉄東西線までの区間に指定しています。

これらのホテルは、京都市役所に隣接し例会・大会本部を置く「京都ホテルオークラ」を含め4ヶ所が地下鉄東西線の沿線に、また JR 京都駅の周辺に6ヶ所、京都国際会館に隣接した1ヶ所の都合11のホテル全てが京都市営地下鉄沿線に位置します。

以下にオフィシャルホテル及び料金を示します。また、同伴者が同宿する場合は DO (Double occupancy)を選択下さい。また料金はいずれも1室あたりです。

なお、例会・大会期間中は京都市営地下鉄乗り放題パスを提供します。

オフィシャルホテル

Hotel / Hôtel	Category / Catégorie	Priority order / Ordre de la priorite			Price per room with breakfast / Prix par chambre, avec petit dé jeuner			Price per room without breakfast / Prix par chambre sans, petit dé jeuner			
		1	2	3	Single R./	Twin room/Pièce jumelle		Single R./	Twin room/Pièce jumelle		
					C. Single	SO / UP	DO / DP	C. Single	SO / UP	DO / DP	
京都ホテルオークラ	22m ²	Dx			18,500			16,500			
例会・大会本部	37m ²					21,500	28,000		19,500	24,000	
グランドプリンス ホテル	37m ²					18,000	22,000		16,000	18,000	
ホテル グランヴィア京都	30m ²					23,100	25,200		21,000	21,000	
ホテル ウェスティン都 京都	38m ²					23,000	30,000		21,000	26,000	
ANAホテル 京都	22m ²	SP			12,000			10,500			
	27m ²				15,000	18,000		13,500	15,000		
京都ロイヤルホテル&スパ	21m ²				11,500			10,500			
	22m ²					15,000	18,000		14,000	16,000	
ホテル モントレイ京都	20m ²				12,000			10,500			
	22m ²					15,000	18,000		13,500	15,000	
新都ホテル	26m ²		Prm. EC				11,000	17,000		9,500	14,000
ホテル京阪京都	23m ²						10,000	14,000		9,000	10,000
ハートンホテル京都	23m ²						10,000	16,000		9,000	12,000
エルイン京都	14m ²		EC			7,000			6,200		

Notes / Notes explicatives

>DX : Delux / Deluxe

>SP : Superior / Supérieur

>EC : Economy / économique

>Prm EC : Premium Economy / Économie de la Prime

>Single R. / C. Single : Single room / Chambre single

>SO / UP : Single occupancy / Une personne

>DO / DP : Double occupancy / Deux personnes

8. 登録手続き等

下記の要領で参加者の募集を行いますので、2012 京都年次例会・大会への参加登録希望者は添付の「参加申込書」にご記入の上、事務局にお送り下さい。

また、下記 URL にアクセスし、 をクリックしますと、「登録申し込み」欄が立ち上がりますので、この各項目について所要事項を直接記入すると共に、パスポート番号記入欄に「JCOLD」と記入し、登録下さい。

なおご参考までに、オンライン登録での記入方法を web 上に載せましたので、ご利用下さい。

URL : <http://icold2012kyoto.org/>

なお、オンライン登録がしづらい場合は上記 web 上から Registration Form をダウンロードし、所要各項目について記入いただくと共に「参加申込書」と合わせて郵送・E-Mail または FAX でお申し込み下さい。

「参加申込書」および「Registration Form」をお送りいただいた皆様には、「参加申し込み確認書」および「登録料の請求書」をお送りいたしますので、指定期日までに請求金額を下記銀行口座に振り込み下さい。

JTB Global Marketing & Travel Inc. ICOLD 2012 (Message: CD263346-014)

Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ, Ltd. Shin-Marunouchi Branch (Swift code: BOTKJPJT)

1-1-1 Otemachi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8114 Japan (Account number:3131677)

「参加申込書」と「登録用紙」は当会ホームページにも掲載していますのでダウンロードしてご利用ください。

(Fax 宛先 : 03-3459-0948 E メール宛先 : contact@icold2012kyoto.org)

登録内容と登録入金額を確認した後、確認書をお送りいたします。

9. 参加パターン

参加者には下記のようないくつかの参加パターンの選択が考えられますので、ご検討下さい。

いずれの場合も（社）日本大ダム会議では皆様の参加支援を致しますので、ご遠慮なくお申し出下さい。

- ①年次例会・大会のみの参加
- ②年次例会・大会への参加 + プレツアーへの参加
- ③年次例会への参加 + ポストツアーへの参加
- ④年次例会への参加 + プレツアー + ポストツアーへの参加

社団法人 日本大ダム会議

ICOLD 第 80 回年次例会・第 24 回大会
2012・京都 参加申込書

(参加申込書及び Registration Form をご記入の上ご送付ください)

〒105-0002 東京都港区愛宕 1-1-11 虎ノ門八東ビル 8F 一般社団法人日本大ダム会議
Email: contact@icold2012kyoto.org Tel: 03-3459-0946 Fax: 03-3459-0948

平成 24 年 月 日

1. 参加者

ローマ字		ローマ字	
氏 名		同伴者氏名	
本人生年月日	19 年 月 日	同伴者生年月日	19 年 月 日
自宅住所	〒	-	住所
自宅電話番号			

2. 所属機関

所属機関			
部署名			
役職名			
所在地	〒	-	住所
E-mail アドレス			
連絡先	Tel	() -	内線
			Fax () -

3. 参加形式

いずれかに○をお願いいたします。

- 1) 年次例会・大会のみの参加
- 2) 年次例会・大会への参加+プレツアーへの参加
- 3) 年次例会・大会への参加+ポストツアーへの参加
- 4) 年次例会・大会への参加+プレツアー+ポストツアーへの参加

※ ツアーに御参加の方はツアー番号の御記入をお願いいたします。
(ツアー番号 _____)

4. 連絡事項

--